



大阪市立

新翼中学校

校長名	戎 治
所在地	生野区巽南4-2-53
電話番号	06-6793-7415
FAX番号	06-6793-4178



通学区域外(校区外)からの 受入可能人数(目安)	10人～19人程度
学校公開日*	9月17日(木)13:30～14:20 9月18日(金)13:10～15:45
学校説明会*	9月17日(木)14:30～15:00

*学校見学および学校説明会は学校選択の参考にご活用いただくもので、参加は任意です。なお、入学直前に開催する入学説明会とは別のものでご注意ください。



校長先生のメッセージ

新翼中学校は、生野区の東南に位置し、昨年度に創立50周年を迎えました。運動場が広く、複数の部活動が同時に活動できる広さがあります。一人ひとりの能力を伸ばすことを目的に全教職員が力を集結し取り組んでいます。

新翼中学校は、今後とも、生徒・教職員がともに生き生きと活動できる教育の場を目指すとともに、保護者・地域の皆様から信頼と満足を得られるよう、努力を積み重ねてまいります。

教育目標・重点目標・校訓・めざす生徒像

教育目標

『自己を磨き続け、他者と関わり、共に持続可能な社会を探究する人』を育成する

重点目標

- 豊かな心と健康な体の育成
- 主体的・対話的で深い学びの創造
- 安全で安心な学校生活

標準服



※男女ともに
「A」・「B」選択可

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

種目別平均値 全国・大阪市の調査結果については、32ページをご覧ください。

性別	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	合計得点
男子	29.35	23.80	46.10	52.89	77.00	7.79	176.83	23.75	43.44
女子	23.25	20.31	49.88	39.85	56.27	8.97	150.52	11.46	47.41

結果概要

- 男子は、著しく向上がみられます。しかし、上体起こし、20mシャトルラン、立ち幅とびの項目に課題がみられました。
- 女子は、握力、長座体前屈、20mシャトルランで良い結果が出ました。しかし、他の項目については課題がみられました。

取り組みの成果と課題、アクションプラン

- 男女ともに立ち幅とびの数値が低く、下肢の筋力や瞬発力の向上に課題があると考えられます。また、全身のバランスの良い体力の向上が必要だと考えられます。
- そこで、体育の授業時に、補強運動を毎時間取り入れ、部分的な向上ではなく全身的にバランスのよい体力の向上を目標に取り組み、成果に結びつけていきます。

部活動

運動系

野球(男)、サッカー(男・女)、ラグビー(男)、
バスケットボール(男・女)、ソフトテニス(女)、卓球(男・女)

文化部

美術(男・女)、吹奏楽(男・女)、家庭科(男・女)

令和8年7月時点での部活動を記載しています。部活動によっては、活動場所が他の中学校といった場合があります。部活動に興味がおありの際は、必ず事前に学校に問い合わせてください。

令和7年度全国学力・学習状況調査

全国・大阪市の調査結果については、32ページをご覧ください。

国語・数学：平均正答率(%)、理科：平均IRTスコア

国語	数学	理科
42	29	432

結果概要

【国語】「話すこと・聞くこと」の分野での平均正答率が低くなりました。問題形式では「記述式」や「短答式」の無回答が多く、苦手傾向にあると思われます。一方で、事象や行為を表す語彙については平均正答率が高く、理解度が比較的高いといえます。
【数学】「数と式」の分野での平均正答率が特に低くなりました。問題形式では、短答式と記述式で低くなり、答える内容が多く複雑になるほど低くなる傾向がみられました。
【理科】「気圧の知識や概念」「探究に関する振り返りの表現」など第1分野の出題で平均正答率が低くなりました。また、基礎的な知識に限らず、グラフから読み取る分析力や実験結果からの考察力が十分ではありませんでした。

取り組みの成果と課題、アクションプラン

【共通】教員全員で生徒を見守ることを念頭に置き、複数の教員で学級を担当するほか、生徒の習熟度に合わせてグループ分けを行った授業を行っています。●また、「わかる喜び、できる楽しさを実感できる授業」をめざし、ICT機器を活用した授業の工夫、改善に取り組んでいます。
【国語】●さまざまな語彙を身につけさせるため、定期的に授業内で新出語彙の問題に取り組ませています。●短い資料を読み、自分の考えを整理する力をつける必要があります。また、文章を書く機会をできるだけ増やし、自分の考えを書くことで表現する習慣をつけさせる取組を行います。
【数学】●基礎、基本を身につけるため、分割授業や個別指導の充実を図ります。●基礎ができているグループに対しては、応用力を伸ばす手立ても行う必要があるなど、個々の課題が異なるため、デジタルドリルを活用するなど、自分自身の課題を把握できるように適切なフィードバックを行っています。
【理科】●基礎的な知識の定着のために、定期的な小テストの実施や学習課題の提供に取り組んでいます。●実験や探究課題をテーマに、主体的・対話的に取り組める授業に取り組んでいます。

卒業後の進路

過去3年間の卒業生数	令和7年度	92	令和6年度	64	令和5年度	70
------------	-------	----	-------	----	-------	----

【府立公立・国立高校】汎愛(8)、大阪ビジネスフロンティア(7)、東住吉総合(6)、大阪わかば(6)、阿倍野(5)、八尾北(5)、成城(5)、桃谷(5)、阪南(4)、布施(4)、八尾(4)、東大阪市立日新(4)、生野支援学校(4)、東住吉(3)、港南造形(3)、桜和(3)、清水谷(2)、港(2)、山本(2)、長吉(2)、守口東(2)、大塚(2)、大阪府教育センター附属(2)、東淀川、夕陽丘、天王寺、住吉、花園、松原、藤井寺、野崎、布施北、八尾翠翔、今宮工科、堺工科、桜宮、泉尾工業、生野工業、工芸、なにわ高等支援学校
【府内私立】金光藤蔭(10)、阪南大学(10)、桃山学院(5)、大阪学芸(5)、浪速(4)、興國(4)、英風(3)、昇陽(3)、ヴェリタス城星学園(3)、上宮(3)、清風(3)、大阪夕陽丘学園(3)、あべの翔学(3)、常翔学園(3)、城南学園(2)、大阪学院大学(2)、東大阪大学柏原(2)、近畿大学附属(2)、天王寺学園(2)、明浄学院(2)、東朋高等専修学校(2)、大阪つくば開成、大阪、プール学院、香ヶ丘リベルテ、箕面自由学園、追手門学院大手前、四條畷学園、関西福祉科学大学、羽衣学園、金光八尾、上宮太子、四天王寺東、関西大学北陽、利晶学園大阪立命館、大商学園、大阪商業大学、大阪産業大学附属、大阪電気通信大学、太成学院大学、関西情報工学院専門学校、専修学校クラーク高等学院天王寺校、専修学校クラーク高等学院大阪梅田校
【府外・国立・私立問わず】飛鳥未来きぼう(2)、飛鳥未来(2)、科学技術学園、日本航空高等学校石川、滋賀県立大津清陵、彦根総合、西大和学園、和歌山県立南部、ルネサンス大阪、高川学園、屋久島おおぞら、N

運営に関する計画

計画のエッセンス

- 生徒が安全で安心できる学校生活を営むことができるよう、いじめ等に関する相談機能の充実や保健衛生面における指導の徹底を図る。
- 豊かな心や社会に貢献する態度等を身につけるため、通常の学習をはじめ、さまざまな教育活動において生徒が主体的かつ協働的に取り組む姿勢を大切にする。

中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

- 令和11年度の年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を87.0%以上にする。(R7:80.2%)
- 年度末の校内調査における「人権の大切さについて学ぶ機会が多い」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を78.0%以上にする。(R7:77.4%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を、国語・数学ともに1.00以上にする。(R7:国語0.77 数学0.60)

- 年度末の校内調査における「自分の努力したことや、頑張ったことを認めてくれる先生が多い」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を78.0%以上にする。(R7:77.2%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度の校内調査において「学習者用端末を利用して調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80.0%以上にする。
- 年度末の校内調査における「学校の図書室を利用している」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を55.0%以上にする。(R7:52.3%)

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

■しんたつチームビルディング～アドベンチャープログラム～

しんたつチームビルディングとして、関西大学の「アドベンチャープログラム」に取り組んでいます。これはチームビルディング、コミュニティ作りを目的としたもので、チームで様々な課題を協力してクリアしていくものです。特に高難易度の課題ではボルダリングや命綱を使うなど、安全管理・危機管理も学べるプログラムで、文字通り「パートナーの命綱を握る」貴重な体験を得ました。
チームビルディングは「学級づくり」「他者への関わり」等、さまざまな場面で活きる取り組みです。互いが尊重し合うことができる関係性を作るためにどうすればよいのかなど、生徒一人一人が正解のない問いに対し、ともに考えていくことができるようになることを願っています。



地域等との連携

■防災教育～避難訓練～

消防署と連携した「地震からの出火を想定した訓練」、区役所と連携した「地震による津波からの避難を想定した訓練」を行っています。訓練の最後には、学校長や消防署、区役所から災害に備える大切さなどについてお話をいただきました。
また、校外で災害にあった時にも避難ができるよう、地域ごとに集合し、一時避難場所や一緒に避難するメンバーの確認も行いました。災害時において、自分の身を第一に守りながらも、中学生としてできる活動を身につけていきます。



地域等との連携

■キャリア教育～職業講話、職場体験学習、OEN～

2年の生徒は、地域の企業、事業所のご協力のもと、職場体験学習を行っています。それに先立ち、SP(サブ・パーソナリティー)トランプのプロ講師である川島様に来ていただき、仕事の適性について学んだり、株式会社リグッタの方にきていただき、「ものづくりの街」である生野区の歴史や「ものづくりをする人」の想いを生の声で聴かせていただいており、実際に職場体験を行う際には、商品に触れ、楽しみながら学習をすることができています。
その他、「働くとは何か?」「どんな仕事にも共通していることは何か?」などをグループで話し合ったり、考えを深める取り組みを行っています。
さらに、市総合教育センターの産官学連携の支援(OEN)をいただき、各企業から出された課題についてグループで考え、提案する探究学習にも取り組んでいます。



国際理解教育

■国際理解教育～多文化共生教育～

異文化理解やコミュニケーション能力の向上を図り、これからのグローバル社会で活躍する国際人を目標に、多文化共生について学習しています。また、自分たちの街「大阪」の探究学習と連携して大阪の魅力、日本の魅力を伝えることで自国文化の学びを深められています。
令和6年度：尚徳実験学校(中国・上海)と国際交流を行いました。お互い、英語を使っでの交流となりました。
令和7年度：地域にある大阪太陽言語学院の生徒を招いて交流しました。
令和8年度：大阪・関西万博をきっかけに交流を深めたリリーデール・ハイツ・カレッジ校(オーストラリア)の生徒を招き、ホームステイと授業体験、eスポーツ大会を実施しました。

